

技術の名称

警報システム

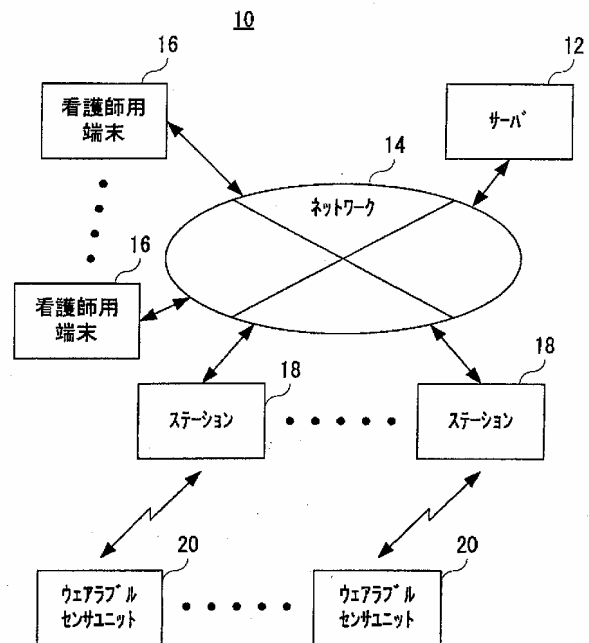
適用分野

病院、診療所などの医療現場

- 目的 コミュニケーションエラーによる医療現場などにおける事故やミスの発生を未然に防止する。
- 効果 本発明によれば、病院や診療科特有の語(隠語)を発した看護師の経歴に応じてその語を正しく認識しているかを判断しているので、コミュニケーションエラーによる医療事故やミスの発生を未然に防止することができる。

- 技術概要
特記事項、図
など

本発明に係る警報システム10は、ネットワーク14に連なったサーバ12と看護師用端末16と看護師に装着されたウェアブルセンサユニット20とを主構成要素とし、ウェアブルセンサユニット20にて収録された看護師の音声をサーバ12に送信し、サーバ12は看護師の会話内容を音声認識してその音声の中に、その病院や診療科特有の語(隠語)が含まれているとき、その音声を発した看護師のその病院や診療科での経歴からその語を正しく認識したか否かを判断し、その判断結果に基づいてアラームを発する。



- 主たる提供特許 特許等の名称 : 警告システムおよび警告方法
登録番号 :
出願番号 : 特願2006-354469 出願日 : 平成18年12月28日
公開番号 :

- 実施実績 ○有、無
- 提供形態 ○実施許諾、×権利譲渡

お問合せ先 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp